

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名 【 愛媛県 】

学校名【 愛媛県立みなら特別支援学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	愛媛県立みなら特別支援学校 高等部1～3年生（各学年2クラス×3学年＝6クラス） 47人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動 <small>次の5つの中から選択し○をつけてください【複数選択可】</small></p> <p>① 教科名（作業学習の時間3時間をオリパラ教育に置き換えて実施）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	スポーツの楽しさを感じ、生徒が積極的にスポーツに取り組めるようになるとともに、卒業後もスポーツを楽しんで取り組もうとする意識を持つようになる。
5 取組内容	<p>◎事前学習としては、筑波大学オリンピック教育プラットフォームからの事前アンケートの実施時に、当日の講師（土佐礼子氏）を紹介する資料を参加生徒に配布した。</p> <p>◎当日の流れについては、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会（9:40～10:30） DVD映像（土佐礼子氏の紹介）を視聴した後に、学生時代のエピソードや、オリンピックや世界陸上出場時のエピソードのほか、頑張ることや諦めず強い気持ちを持つことなどについて30分程度の講演を実施した。 ・実技披露・実技指導（10:40～11:40） 簡単で単純な動きで生徒の多くが楽しめる内容のステップワークやコーン取りゲーム、ランニング指導を実施。最後に生徒と一緒に約1kmほどランニングした。



	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ（11:40～11:50） ・講師からのメッセージ ・生徒からのお礼の言葉 <p>◎事後学習としては、筑波大学オリンピック教育プラットフォームからの事後アンケートの実施時に、学んだことや感想を記入させ、振り返りを行った。独自のワークシートを作成し、学びを深めた学年もあった。</p>
6 主な成果	<p>筑波大学オリンピック教育プラットフォームからの事前・事後アンケートの結果としては、事後アンケートにおいて、オリンピックや、外国の人々の暮らしや習慣などについて、とても興味があるという回答が事前アンケートと比べ多かった。他の項目においても、より興味関心が高まった回答がいくつかあり、今回のオリパラ教育において、生徒はスポーツの素晴らしさや楽しさを味わい、楽しく活動できたことから一定の成果が得られたと思われる。</p> <p>講演会では、スポーツに限らず何事においても諦めないことや、一歩踏み出す勇気、積み重ねが大切であることなど、普段の生活や、卒業後に大切にしていきたいことについて考えることができた。</p> <p>また、今回の事業の大きな目標である、卒業後もスポーツを楽しんで取り組める意識を持つことについては、「大人になっても楽しく運動を続けたい。」「運動の楽しさやおもしろさが分かったので、大人になっても忘れずにいたい。」などの感想もいくつか聞かれた。また、意識の持ち方や考え方に変化が表われた生徒も何人か見られ、一定の成果が得られた。</p>
7実践において工夫した点（事業の特色）	<p>本校を卒業後の進路として、ほとんどの生徒が福祉サービス事業所等の利用や、一般事業所への就職となる。学校に在籍している間は、体育の授業や各種学校行事などで、スポーツをしたり、体を動かしたりする時間が確保されているが、卒業後は、運動をする機会がほとんどなくなる。</p> <p>そのような現状を踏まえ、卒業後もスポーツや運動に楽しんで取り組める意識が持てるように、講師の土佐礼子氏に、簡単で楽しく取り組める内容での講演会やランニング指導をお願いした。</p>
8主な課題等	<p>事前指導や事後指導などを含めた長期間の事業実施は、知的障がいの特設支援学校においては、児童生徒の本事業についての理解が難しい場合がある。そのため、目標や日程を絞り、簡単で多くの児童生徒が取り組めるような内容での計画が適切ではないかと思われる。</p> <p>ただ、事業が短期間であるため、児童生徒の学びの定着が低くなる可能性がある。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>今回の事業実施の取組や成果を参考にし、体育の授業だけでなく学校生活全般においても、児童生徒が卒業後もスポーツや運動を楽しんで取り組める意識を持てるような授業作りを目指していきたい。</p>